

さんさんと降り注ぐ陽光に映える
漆喰づくりのしゃれたデザイン

暖炉の家が夢だった

夫の実家に同居していたものの、築年数を経て家全体が暗く、しかも寒い。なんとかしたいというところから始まったFさん家族の家づくり。

3ページへつづく

表紙のつづき

さんさんと降り注ぐ陽光に映える
漆喰づくりのしゃれたデザイン

【F 邸】

設計／篠田建築設計 施工／(株)篠田工務店
前橋市六供町711 TEL.027-225-0510



主人の夢は、10数年前に軽井沢のカフェで見つけてファンになってしまったという暖炉のある家。しかも、Fさんは旧宅のクロス壁をホームセンターで購入した漆喰で、一部を塗り直してしまうほどの手先が器用だ。「漆喰を選んだのは偶然でしたが、古びたクロス壁の部屋が意外に明るくなったんですね」とご主人は言う。



お気に入りの暖炉の火加減を調整するFさん。焼き物や煮物など料理にも重宝する本格派の暖炉だ

そんなFさんだけに、ごく普通に住宅メーカーの展示場を回ってみたものの、当然のようにビビッとくるころには巡り会わなかった。

「方針変えて、インターネットでいろいろ探し回ると、篠田工務店に興味を持ちました。実際に見学会にも行って、漆喰と無垢の明るい雰囲気の家づくりのファンになってしまったのです」とご主人。暖炉が夢なのでログハウスにも興味があったが、最終的には総漆喰や木製トリプルガラスが標準装備である点を優先して篠田工務店に決めた。

きらめく陽光、スリッパいらずの温かさ

F邸に伺ってまず驚かされるのは、室内にきらめくような陽光があふれていること。建て替える前の前の旧宅の陽当たりの悪さからは、とても想像できないほどだ。リビングにはコンパクトながらも吹き抜けを配し、東向きのキッチンには大きな窓。ここからも朝日がさんさんと差し込む。

1階のLDKには、同社の標準装備でもある蓄熱床下暖房システムを全面に組み込んだ。無垢のカバザクラはスリッパがいらないくらいに柔らかく、暖かい。

さらに、生活の利便性を考え1階は、玄関→



キッチンとリビングの接点に置かれたダイニングテーブル。赤城山の見える大きな木製ガラスからの朝日を浴びながらの食卓が、一日の活力になる



▲「変形敷地だったため、建設前に解決しなければいけないことがたくさんありましたが、篠田工務店にはあれこれと相談に乗っていただきました」と語るFさん一家

ウォークインクローゼット→キッチン&リビングという自然な回遊性が確保されている。キッチンに立って、振り向くとそこに一枚板のオリジナル・ダイニングテーブルというレイアウト。キッチン窓からの朝日を浴びながら、リビング側を振り返ると、ご主人念願の暖炉。「温かさも、明るさもとにかく快適ですね」とFさん家族は口をそろえる。

予想以上のおしゃれさに感動の日々

2階は、子ども部屋と夫妻の寝室、両者を結ぶフリースペースに作り付けられたデスクコーナーからなる。勾配天井は、気持ちの良い開放感と実際以上の空間の広がりを感じさせるものだ。



2階子ども部屋。全室一体感を感じさせるような空間構成が特徴的なF邸では、どこにいても気配が伝わる



吹き抜けに面した2階のフリースペースには作り付けのデスク。ご主人の書斎にも使える快適な空間だ

子ども部屋、寝室ともに吹き抜けを通して家全体に一体感が感じ取れる。寝室に設けられた大きな窓がいい。雄大な赤城山を借景に、朝日と共に爽快に目覚め、夜は星を眺めながら眠りにつくことができそう。

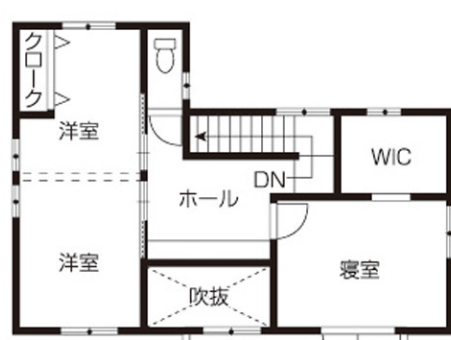
「完成した家を見て、こんなおしゃれな家に住んでいいの(笑)って、思いましたね。子どもの友だちもこんな家に住みたいと言ってくれたそうです」と奥さま。ご主人も「まるで、毎日が洒落たホテルにいるようです」。

F邸は、垢抜けたシンプルデザインを基調に、限られたスペースを無駄なく有効に使い、なおかつ広々と見せることに成功している。

【間取り】



1F



2F

■設計／篠田建築設計
■施工／(株)篠田工務店
■建築工法／木造軸組工法

■建築面積／67.28m²
■延床面積／108.94m²
■完成日／2009年10月